

# 非鉄金属市況と需給動向

令和元年6月（銅、亜鉛、ニッケル、金・白金）

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

おことわり: 本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行っておりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用であることを明示してくださいようお願い申し上げます。

## 前半は5,800US\$/t前後で推移、後半はチリ鉱山でのスト等による供給懸念で上昇

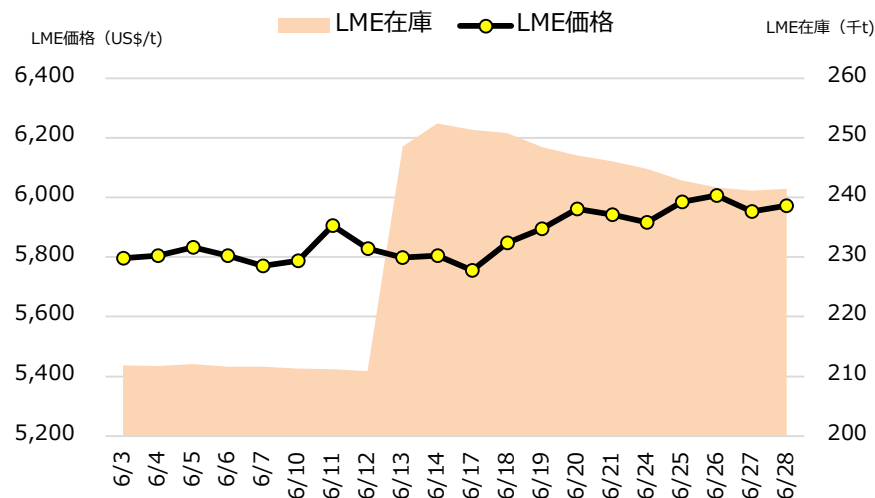
### ■市況動向

- ① **中国の景気刺激策で価格上昇するも、経済減速で横ばい**：3日、5,796.0US\$/tで開始。前半は、5,800.0US\$/t前後の小幅な値動きとなったが、10日に中国政府が景気刺激策として地方政府のインフラ投資の資金調達を支援する方針を示したことから、需要の増加が期待され、5,905.0US\$/t（11日）にまで上昇。しかし、中国の5月の新車販売台数の減少発表や生産者物価指数が減速したこと及びLME在庫が大幅に増加したことを受け、下落。17日には、5,760.0US\$/tとなった。
- ② **Chuquicamata鉱山のストライキ等で供給懸念**：その後、チリ・Chuquicamata鉱山で14日にストライキが開始したこと、Glencoreが操業するザンビアMufulira銅製錬所が大規模改修のため年末まで閉鎖との報道が銅供給不足の懸念材料とされ、価格が上昇。6月米製造業PMIが2009年9月以来の低水準であったなどの下落要因はありつつも上昇傾向を見せ、5,972.0US\$/tで越月。

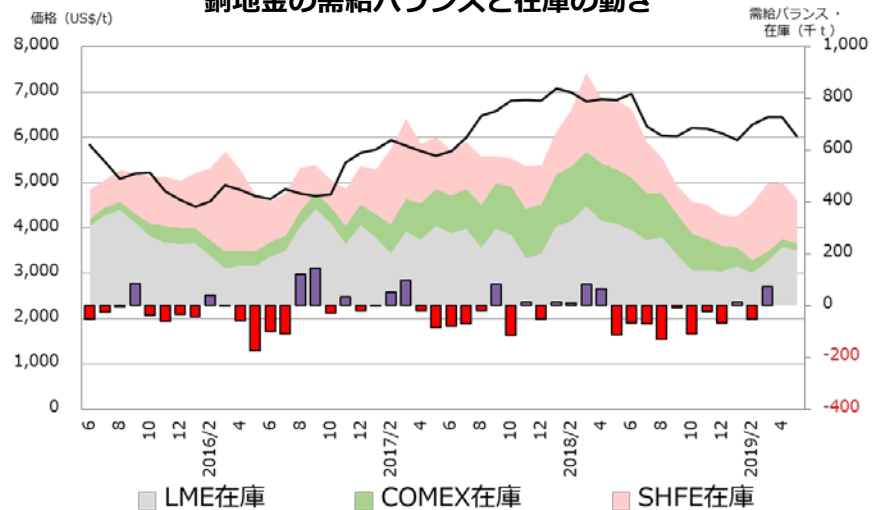
### ■需給動向

- ⚡ 国際銅研究会(ICSG)(2019年春季)予測によると、2019年は**190千tの供給不足**、2020年は**250千tの供給不足**。2018年は399千tの供給不足。
- ⚡ **主要鉱山操業状況**：チリ・El Teniente鉱山の労働者1名の死亡事故で操業を一部停止（2019年6月2日報道）。14日に開始したチリ・Chuquicamata鉱山のストライキは、27日に終了（同27日発表）。
- ⚡ **その他関連情報**：加First Quantum社保有のCobre Panama鉱山、最初の銅精鉱31,377wmtを中国に出荷、また、同鉱山の銅生産量は数年以内に300千t/年にまで拡大予定と発表（同24日）。中国は、2019年7月1日から銅スクラップ（第6類）輸入制限を実施、2019年Q3の輸入割当量を240,429tと発表（同20日）。

当該期間の値動き



銅地金の需給バランスと在庫の動き



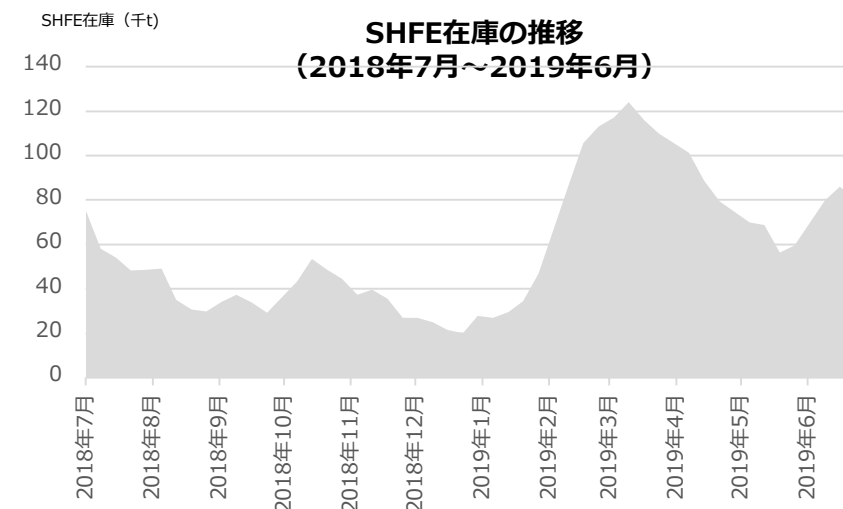
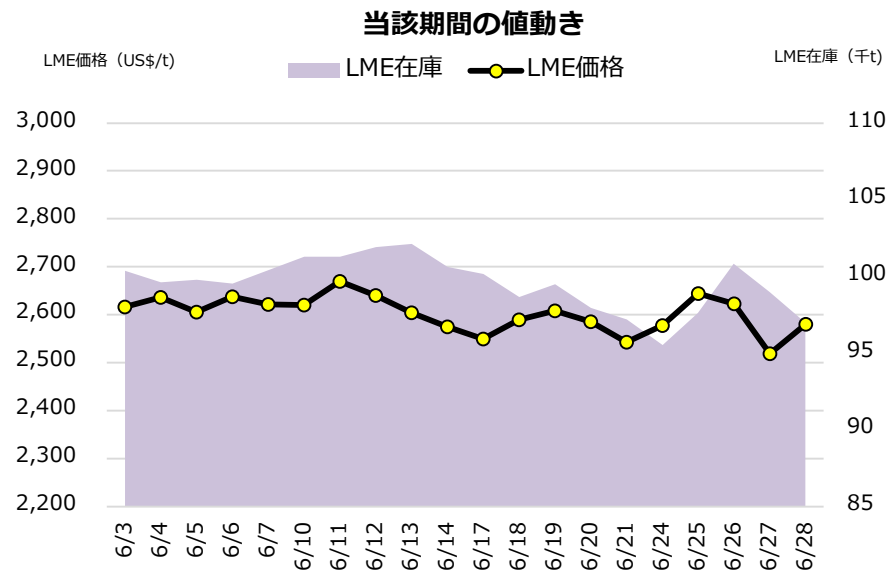
## 米中首脳会談への期待高まるも、中国での供給増に対し需要の弱さを意識

### ■市況動向

- ① **米中関係悪化も、堅調な亜鉛需要で2,600US\$/t台で踏みとどまる**：当該期間、亜鉛は2,615.5US\$/tでスタート。米中貿易摩擦への懸念が下押し圧力となったものの、亜鉛の堅調な需要に下支えされ2,600US\$/t台で横ばい推移した。10日、中国政府が、地方政府が特別債で調達した資金をインフラ等への投資に充てることを承認したとの報道を受け需要増加が期待され、11日は2,670.0US\$/tに上昇した。
- ② **中国の増産を背景に軟調推移**：6月中旬は下落基調に転じ、17日には2,549.0US\$/tの5か月ぶり安値をつけた。SHFE（上海）在庫が増加しており、中国亜鉛製錬所が高TC/RCを背景に増産しているとの情報から亜鉛需給逼迫感が緩和した。
- ③ **米中貿易摩擦解消への期待高まるも、中国需要の弱さが意識される**：25日、亜鉛価格はG20（6月27～28日開催）に併せて米中首脳会談が開催されることから、両国関係改善への期待感が高まり2,644.0US\$/tへ回復した。しかし、LME在庫の増加や中国製錬所での増産に対し、中国製造業PMI発表を控え需要の弱さが意識され、27日には再び2,518US\$/tへ下落した。2,580.5US\$/tで越月。

### ■需給動向

- 📌 国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)(2019年春季)によると、2019年予測は**121千tの供給不足**。2019年6月の月次発表では、2019年1～4月の需給バランスは**97千tの供給不足**。
- 📌 **主要鉱山操業状況**：Newmont Goldcorp社は、トラック請負業者等による道路封鎖で操業停止していたメキシコ・Peñasquito鉱山について、1か月半ぶりに再開することを発表した。今後Newmont Goldcorp社と地域住民間で協議が行われるほか、住民に対し示談金を支払う条件で、封鎖が解除された（2019年6月19日）。亜鉛製錬大手のNyrstar社は、所有するカナダ・Myra Falls鉱山に対し鉱量拡大等を目的に34mUS\$の追加投資を行うことを明らかにした（同24日）。

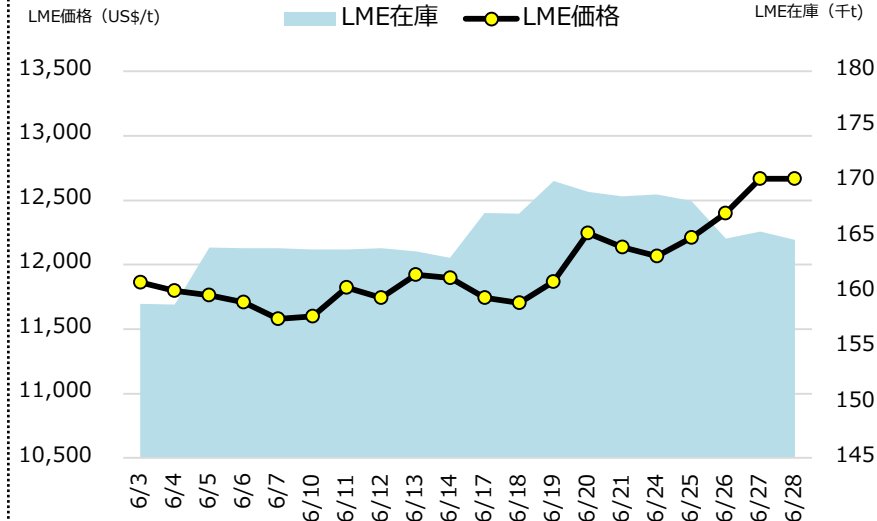


## 月初は在庫増等により下落傾向も、ニッケル生産国における供給懸念を背景に上昇に転じる

### ■ 市況動向

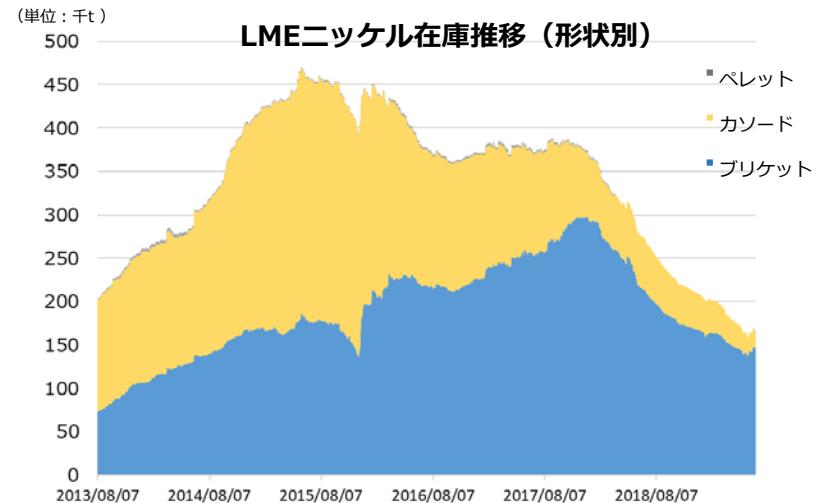
- ① **LME在庫増等を受け月初めは下落基調**：当該期間11,860.0US\$/tで開始。5日、LME在庫が前日比約5,000t増加したことや、米5月非農業部門雇用者数が低水準であったこと等を背景に下落し7日に当月最安値の11,580.0US\$/tをつけた。
- ② **インドネシアの洪水による供給懸念は限定的**：10日以降は、6月上旬に発生したインドネシア・Sulawesi島における豪雨・洪水を受け、同国のニッケル生産への影響が懸念されやや値を上げたが、同島Morowali工業団地への影響は限定的であったとの報やLME在庫の増加を背景として、大幅な価格上昇とはならなかった。
- ③ **Koniambo製錬所操業停止等を受け価格は上昇**：6月末開催のG20に合わせて米中首脳会談の実施が決定したことを受け、両国の通商関係改善への期待から19～20日にかけて価格は上昇した。また、27日、Glencoreが49%出資するニューカレドニア・Koniambo製錬所で事故発生のため操業停止したとの報を受け、価格は前日比2.14%上昇。当該期間最高値となる12,665.0US\$/tで越月。

当該期間の値動き



### ■ 需給動向

- ⌘ 国際ニッケル研究会(INSG)(2019年春季)によると、2018年は146千tの供給不足、2019年(予測)は84千tの供給不足。
- ⌘ **主要鉱山操業状況**：豪Mincor社、豪WA州のLong鉱山の再開に向けたFSを2019年末までに完了させる予定（2019年6月21日報道）。
- ⌘ **その他関連情報**：Valeは、連邦裁判所による操業停止命令を受けブラジル・Onça Puma製錬所の操業を停止。同鉱山は2017年9月から採掘停止していたが、製錬所は稼働継続していた（同17日発表）。24日、ニューカレドニア・Koniamboフェロニッケル製錬所（2018年生産28.3千t（Ni量））の電炉で溶融メタルおよびスラグが漏出する事故が発生し、操業を停止。原因等の詳細は不明（同27日報道）。

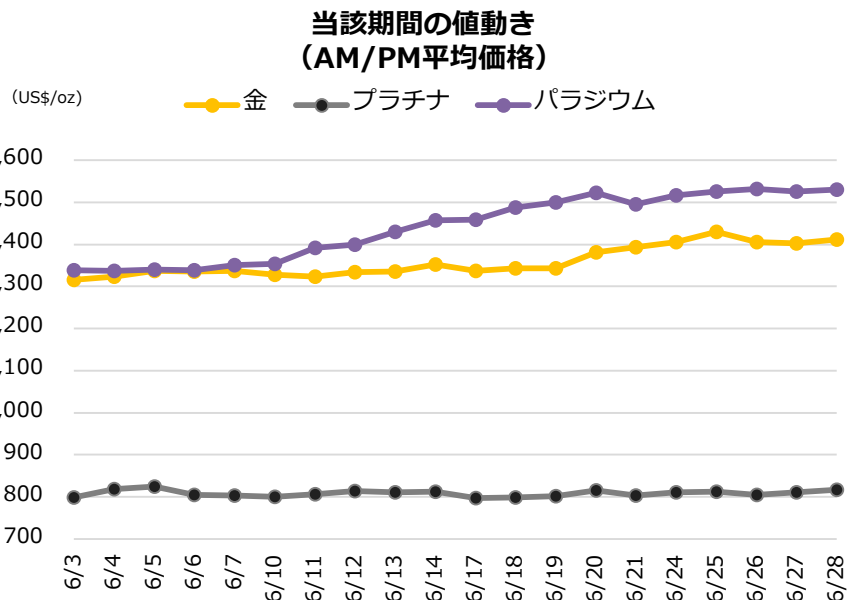


# 金・プラチナ・パラジウム

## 金、米FRB利下げ観測、米イラン対立激化で6年ぶりの高値、パラジウム1,500US\$突破

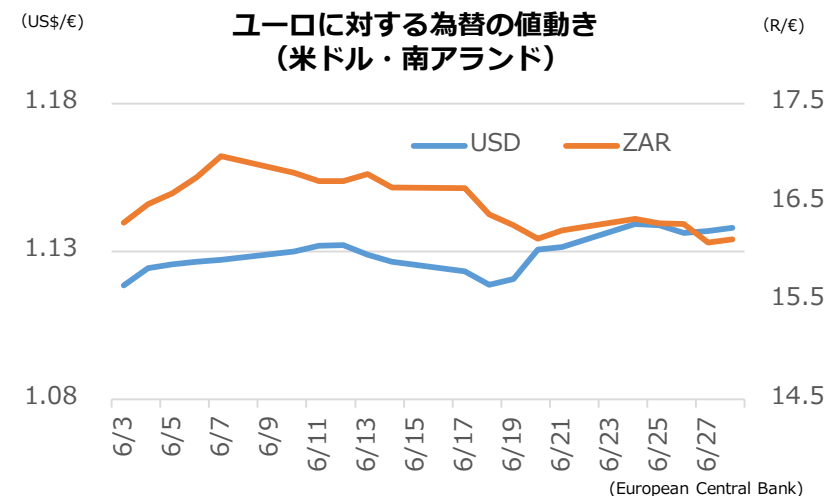
### ■金

- ① 米、墨への追加関税示唆と利下げ観測**：当該期間最安値の1,315.53US\$/ozで開始。5月末にトランプ米大統領が10日からメキシコに対して追加関税を導入すると発表し世界の株式相場が急落、反比例して金の買いが進展、更に米雇用者数の伸び鈍化でFRBが利下げに動くとの観測を強め、1,340US\$/oz近くまで上昇した。
- ② 墨追加関税の無期限停止**：7日に米政府が対メキシコ追加関税の無期限停止を発表し11日には1,323US\$/oz台に下落したが、13日ホルムズ海峡でタンカー攻撃が発生、米国とイランの対立緊迫化への懸念から買いが進展、14日に1,350US\$/ozを超えた。20日、米連邦公開市場委員会(FOMC)が政策金利を2.5%据置きと発表した、米10年債利回りが2%を切ったことで1,380.58US\$/ozまで急騰した。
- ③ 米イランの対立緊迫化**：上昇傾向のまま24日、トランプ米大統領のイラン最高指導者ハメネイ師らの資産凍結に関する追加制裁発動を表明し、米国とイランの軍事的緊張が意識され更に上昇、25日に当月最高値の1,430.48US\$/ozをつけた。その後米大統領の利下げ要求に対するFRB議長の牽制発言により下落、1,411.10US\$/ozで越月。



### ■プラチナ・パラジウム

- ① プラチナ**：ディーゼル車排ガス触媒の需要減が懸念され下落基調。当月798.5US\$/ozで開始、金相場上昇につられ一時上昇し、5日当月最高値825.0US\$をつけたがその後南ア新政権の組閣遅れやランド安から下落、17日当月最安値797.0US\$/oz。米株価上昇や20日FOMC金利政策発表後に上昇し、817.0US\$/ozで越月。
- ② パラジウム**：需給の引き締まりが強く触媒向け供給懸念が再燃し、ロジウムのスポット価格急伸にもつられて月間を通じ上昇基調。1,338.0US\$にてスタート、4日に当月最安値1,337.0US\$。19日に1,500US\$を突破、26日に当月最高値1,532.0US\$をつけた。1,529.5US\$で越月。



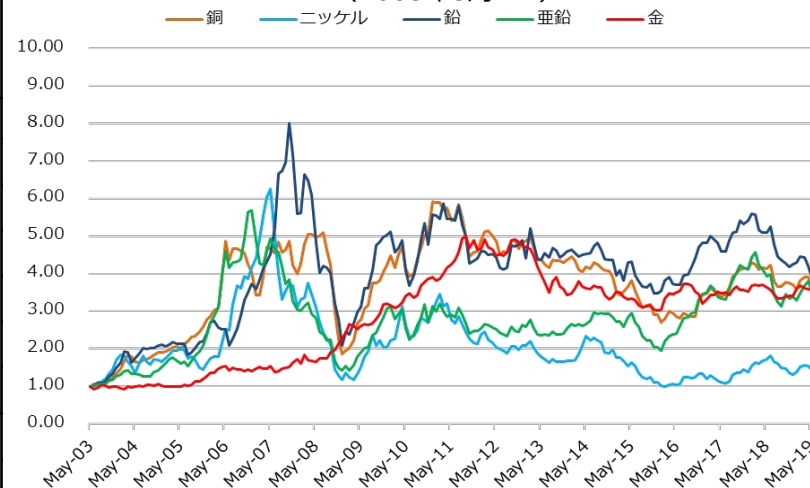
# (参考)

		銅	亜鉛	ニッケル	金	プラチナ	パラジウム
		LME現物	LME現物	LME現物	AM・PM平均	AM・PM平均	AM・PM平均
		(US\$/t)	(US\$/t)	(US\$/t)	(US\$/oz)	(US\$/oz)	(US\$/oz)
本報告期	期初	5,796.0	2,615.5	11,860.0	1,315.5	798.5	1,338.0
	期末	5,972.0	2,580.5	12,665.0	1,411.1	817.0	1,529.5
	最高値	6,006.0	2,670.0	12,665.0	1,430.5	825.0	1,532.0
		6月26日	6月11日	6月27, 28日	6月25日	6月5日	6月26日
	最安値	5,756.0	2,518.0	11,580.0	1,315.5	797.0	1,337.0
		6月17日	6月27日	6月7日	6月3日	6月17日	6月4日
	平均	5,868.4	2,602.1	11,970.0	1,358.8	808.4	1,441.7
先物 (6月27日)	3か月	5,967.5	2,471.5	12,690.0	-	-	-
	Dec 1	6,035.0	2,440.0	13,060.0	-	-	-
	Dec 2	6,085.0	2,405.0	13,365.0	-	-	-
2019年 (当年)	期初	5,839.0	2,462.0	10,440.0	1,285.1	790.5	1,265.0
	期末	5,972.0	2,580.5	12,665.0	1,411.1	817.0	1,529.5
	最高値	6,572.0	3,018.0	13,610.0	1,430.5	912.5	1,604.0
		3月1日	4月1日	3月6日	6月25日	4月8日	3月21日
	最安値	5,756.0	2,462.0	10,440.0	1,271.2	783.0	1,265.0
		6月17日	1月2日	1月2日	5月2日	2月14日	1月2, 3日
	平均	6,164.6	2,731.9	12,314.6	1,306.6	832.4	1,410.4

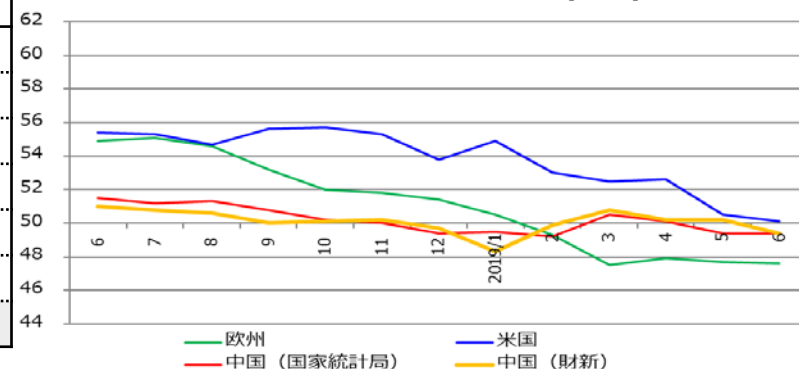
## 主要非鉄金属の価格推移

(2003年5月 = 1)

(JOGMEC作成)



## 製造業購買担当者景況指数(PMI)



米国経済	6月の製造業PMI (IHS Markit社発表) は50.1 (前月: 50.5、予想: 50.4) であり、前月および予想を下回った。6月非農業部門雇用者数は前月比+22.4万人 (前月: +7.5万人) と市場予想の16.0万人増を上回った。失業率は3.7% (前月: 3.6%) とわずかに上昇。
中国経済	6月製造業PMIは、国家統計局発表が49.4 (前月: 49.4) と横ばいに推移した。財新発表は49.4 (前月: 50.2) と前月より低下し、市場予想の50.1を下回る低水準となった。
欧州経済	6月製造業PMI確報値は、47.6 (前月: 47.7、予想: 47.8) と前月よりやや低下した。